

令和5年度（2023年度）

管理事業名	地域・青少年教育事業			総合計画の体系	大綱 4 子育て・学び 政策 3 青少年がすこやかに育つまちづくり 施策 1 青少年の健全育成
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費 (目) 2 青少年教育費
部局名	地域教育部	予算執行所属	まなびの支援課・青少年室		
事業の目的と概要 【目的】青少年を対象に、地域での見守りや指導を行うとともに、青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性や社会性を育む。 【概要】青少年に向けた多様な体験活動や学習の場、仲間づくりの場の提供を通して、その健やかな成長を支える。また、見守り活動等を支える地域ボランティアの養成に取り組む。各小学校区で組織されている見まもり隊にキャップや腕章などの消耗品を支給して、通学路の安全確保のための見まもり活動を支援する。					

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標の定義
さわやか元気キャンプ参加者数	人	35	73	97	さわやか元気キャンプ参加者数
青少年指導者講習会参加者数	人	61	203	161	青少年指導者講習会の参加者数
消耗品支給小学校区数	校区	32	34	25	こども110番見まもり活動に係る消耗品を支給した小学校区数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標(1)さわやか元気キャンプ参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数97人（前年比：24人の増） 不登校傾向にある子供たちを対象に、海洋体験（カヌーなど）や雪遊び、スキーなどの自然体験と仲間とともに過ごす生活体験活動を実施した。身近に自然に触れる機会を増やすことで、学校に行きにくい子供たちが社会性や協調性を育む機会となった。また、当キャンプを卒業した大学生等がスタッフとして参加するケースが増えている。令和5年度から、スタッフに対するスキルアップ講習会を実施し、不登校等の課題を抱える児童、生徒に寄り添ったキャンプを実施できるよう取り組んだ。 <p>【成果指標(2)青少年指導者講習会参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数161人（前年比：42人の減） 「子供の貧困を考える」「スマホやSNSのトラブルから身を守るために」などをテーマとして6回実施し、青少年の健全育成を担う地域の方々や指導者の育成支援に取り組んだ。 <p>他会場でのスクリーン投影や自宅でのZoom等による視聴、YouTube配信など、気軽に参加できるよう開催方法を工夫した。が受講者数は減少した。</p>	<p>【青少年育成事業】</p> <p>「二十歳を祝う式典」は、市立吹田サッカースタジアムで開催し、2,800名が参加した。親族も対象者1名につき2名まで参加可能とし、約800名の親族も参加した。また、会場に来れない参加者や保護者等のためにライブ配信、アーカイブ配信も行った。</p> <p>学校のクラブや地域で音楽活動を行うグループの発表と交流の場を提供する「吹田青少年野外コンサート」、青少年によるロック・ポップス等の演奏等を実施する機会を提供する「ヤングフェスティバル」を実施した。</p> <p>【青少年指導事業】</p> <p>地区青少年健全育成事業への助成は、「地区青少年健全育成事業補助金」を交付し、土曜日の学校開放や様々な体験活動を提供する行事を令和4年度より多く実施した。</p> <p>7月、11月には国の「社会を明るくする運動」や「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に協賛し、大阪府、吹田警察署、青少年対策委員会、青少年指導員会などが連携して「全市一斉合同パトロール」を実施した。</p> <p>【成果指標(3) 消耗品支給小学校区数】</p> <p>令和5年度は、小学校区36校区のうち、25校区に配布。なお、在庫等の関係で消耗品配布の希望をしない校区がある。（令和3年度32校区、令和4年度34校）</p>
--	---

III 課題と今後の取組

<p>「さわやか元気キャンプ」については、事業実施後、参加者が学校に登校できるようになったという事例もあり、ニーズと意義はあるものと考え。今後、参加者がスタッフとなり、つながりを継続できるような機会を提供する。</p> <p>「青少年指導者講習会」は、より多くの方が気軽に参加できるようにオンライン配信も取り入れながら、地域で青少年に関わるボランティアの担い手養成のため、引き続き、講習内容の充実と実施回数を増やすなどの取組の強化に努める。</p>	<p>「吹田青少年野外コンサート」については、これまで千里南公園で開催してきたが、熱中症リスク、当日の天候により貴重な発表の場と機会を失うリスクがあることが懸念されるため、令和6年度以降はメイシアターで開催予定。</p> <p>「吹田市・若狭町リーダー交歓会」は、1970年の大阪万博から始まった事業で、一定の期間を経過しており、開催当時から社会環境等が大きく変わっており、時代に合った見直しの協議を若狭町とともに進める。</p> <p>見まもり活動に係る消耗品を各小学校区18,000円以内で支給することにより、活動の継続と充実を支援することで、子供の安全確保に寄与しており、今後も継続していく。</p>
--	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	6,215	6,896	681
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	6,215	6,896	681
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
固定資産	有形固定資産	0	0	0	その他流動負債	-	-	-
	土地	-	-	-	固定負債	58,189	61,670	3,481
	建物・工作物	0	0	0	地方債	-	-	-
	リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
	建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	58,189	61,670	3,481
	無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
	インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
	有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	64,404	68,566	4,162
	土地	-	-	-	純資産	△62,474	△66,636	△4,162
	建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-					
重要物品	1,800	1,800	0					
図書館資料	-	-	-					
投資その他の資産	130	130	0					
出資金	130	130	0					
長期貸付金	-	-	-					
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	1,930	1,930	0	純資産の部合計	△62,474	△66,636	△4,162	
				負債及び純資産の部合計	1,930	1,930	0	

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	-	-	-	-
	国庫支出金(経常費用充当)	150	255	301	46
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	77	101	94	△8
経常収入 小計(a)	227	356	395	38	
経常費用	給与関係費	119,163	105,375	108,862	3,488
	物件費	11,118	12,549	13,616	1,068
	維持補修費	-	-	-	-
	社会保障扶助費	-	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	7,750	14,686	17,096	2,409
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	-	-	-	-
	徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
	賞与引当金繰入額	7,331	6,215	6,896	681
	退職手当引当金繰入額	9,754	△8,571	6,661	15,232
支払利息	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
経常費用 小計(b)	155,115	130,253	153,131	22,878	
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△154,888	△129,897	△152,736	△22,840	
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-	
特別費用	固定資産除売却損	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-	
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-	
一般財源調整額(g)	-	-	-	-	
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△154,888	△129,897	△152,736	△22,840	
一般財源充当額	151,591	144,737	148,574	3,837	
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	-	
再計	△3,297	14,840	△4,162	△19,002	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	227	356	395	38
行政サービス活動支出	151,818	145,093	148,969	3,876
行政サービス活動収支差額	△151,591	△144,737	△148,574	△3,837
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△151,591	△144,737	△148,574	△3,837
一般財源充当額	151,591	144,737	148,574	3,837
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【BS】重要物品	絵画1点
【PL】物件費	二十歳を祝う式典の会場使用料による729千円の増
【PL】負担金・補助金・交付金等	地区青少年健全育成事業補助金1,627千円の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
青少年1人あたりのコスト	1,391円	1,159円	1,359円
実績	111,485人	112,355人	112,696人
コスト	円	円	円
実績			

分析内容
青少年(0~29歳)1人当たりのコストは、青少年に対する活動が活発になったことにより200円増加した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	90,211	1,674	10.22
会計年度任用等	23,577		
特別職非常勤	8,632		
合計	122,419		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		100.0	100.0	100.0	0.0
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		8617.5	7236.3	8507.3	1271.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.9	99.8	99.7	△0.1